

製品名: CEACAM1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86522**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:58 kDa; Observed MW:120-160 kDa

抗原情報

遺伝子名	CEACAM1
別名	BGP; BGP1; BGPI
遺伝子 ID	634
SwissProt ID	P13688
免疫原	ヒト CEACAM1 の合成ペプチド

背景

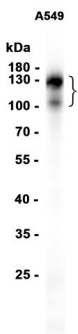
この遺伝子は、免疫グロブリンスーパーファミリーに属する癌胎児性抗原（CEA）遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。

CEA ファミリーの2つのサブグループ、CEA 細胞接着分子と妊娠特異的糖タンパク質は、19 番染色体長腕上の 1.2 Mb のクラスター内に位置しています。このクラスターには、CEA 細胞接着分子サブグループの 11 個の擬似遺伝子も含まれています。コードされているタンパク質は、当初、肝臓の胆管に存在する胆汁糖タンパク質として記載されていました。その後、白血球、上皮、および内皮細胞で検出される細胞間接着分子であることが判明しました。コードされているタンパク質は、サブグループの他のタンパク質との同種親和性および異種親和性結合を介して細胞接着を媒介します。このタンパク質は、組織の三次元構造の分化と配置、血管新生、アポトーシス、腫瘍抑制、転移、そして自然免疫応答と獲得免疫応答の調節など、複数の細胞活性に関与するとされています。異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエントが報告されていますが、全てのバリエントの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2010 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



CEACAM1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した A549 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。